

令和2年度 檜原市昆虫館活動報告

檜原市昆虫館

Annual report for the fiscal year 2020 of Kashihara City Museum of Insect

Kashihara City Museum of Insect

令和2年度はコロナウイルス感染症対策に伴い、4月1日から6月1日まで約2か月休館したほか、各活動も例年に比してその開催数や、募集人数等を大幅に削減している。

展示活動

特別展

「G20 檜原サミット 2020」

～集まる世界の代表ゴキブリ～

7月21日(火)～10月18日(日) 期間入館者：21,646名

企画展

「奈良のチョウ展」

～津村亮次コレクション公開・第2弾～

6月2日(火)～7月19日(日) 期間入館者：8,258名

「いくつ知っている？奈良の虫100」

1月3日(日)～3月14日(日) 期間入館者：7,827名

「『ムシ』の漢字展」

～この「蟲」読めますか？～

3月20日(土・祝)～7月11日(日) 期間入館者：2,639名

(*令和3年5月1日～6月21日はコロナ感染症対策のため休館)

トピックス展示

「奈良県初！？南国のトンボ：ベニトンボを発見!!」

10月20日(火)～12月27日(日) 期間入館者：8,905名

普及教育活動

野外観察会

夏の虫観察会

7月19日(日) 参加者：27名

講演会

むしムシぜみな～る

「ちょうちょすごいぜ! ～チョウから学ぼう～」

7月18日(土) 参加者：14名

講師：林太郎氏(檜原市昆虫館友の会)

「G20 檜原サミット 2020」

～集まる世界の代表ゴキブリ～ 記念講演会

8月2日(日) 参加者：29名

講師：柳澤静磨氏(磐田市竜洋昆虫自然観察公園)、有吉立氏(アース製薬株式会社)

連携事業活動

展示

「田んぼの水族館 in 檜原市昆虫館 2020」

7月28日(火)～8月30日(日) 期間入館者：8,745名

・連携先：奈良県食と農の振興部農村振興課

観察会

「田んぼの生きもの観察会」

8月10日(月・祝) 参加者：28名

・連携先：奈良県食と農の振興部農村振興課

講演会

日本動物学会近畿支部講演会

「動物学って楽しい!おもしろい!」

11月7日(土) 参加者：20名

・連携先：日本動物学会近畿支部、講師：佐藤宏明氏(奈良女子大学)

教育支援活動

出前授業

耳成南小学校オンライン授業
10月8日(木) 生徒：110名

白檜北小学校出前講座

11月11日(水) 教員：16名

博物館実習

8月20日(木)～8月24日(月) 大学生：6名

調査活動

コロナウイルス感染症対策のため、当初予定していた、チョウ類などの生体展示種の系統維持を主目的とした沖縄県の八重山諸島での調査は実施できなかった。

飛鳥地域における昆虫相調査

「カーテン式ライトトラップを用いた走光性昆虫の調査」

実施日：4月27日、5月24日、6月20日、7月23日、8月19日、9月26日、10月18日、11月14日(計8回)

調査地：檜原市南山町南山 雑木林環境の小ピーク

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会調査

「ニッポンバラタナゴ保護増殖試験調査」

実施日：5月22日、6月17日、7月9日、7月27日、9月15日、10月20日、12月10日、12月20日、2月16日

調査地：檜原市今井町 環濠内の水域

共同調査者：北川 忠生(近畿大学准教授)、駒井 藍(近畿大学大学院)

「ため池の外来種駆除調査」

実施日：1月22日

調査地：檜原市観音寺町 月倉谷池

印刷物制作活動

かしはらしこんちゅうかんニュース ダーウィン
「Darwin 2021年3月」
300部 発行

生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会刊行物
「飛鳥地域 外来生物ハンドブック 昆虫・クモ編」
1,000部 発行

業績公表活動

辻本始・野川裕司・池田大, 2020. 奈良県香芝市でヒメフタオチョウを確認. やどりが (266): 30-31.

辻本始, 2020. イリオモテモリバッタのスネアカ型、スネアオ型、アルビノ型の遺伝様式について. 昆虫園研究 21: 3-7.

池田大・阪上洗多, 2020. 兵庫県のスズメガ. きべりはむし 43(2): 26-45

池田大・阪上洗多, 2020. 兵庫県のスズメガ (Appendix). きべりはむし 43(2): Appendix, 1-21.

池田大, 2020. ハチ北高原における *Eudocima* 属 2種の記録. きべりはむし 43(2): 54-55.

池田大・八木剛, 2021. 有馬富士公園における一般参加型虫とりプログラム「あさムシ!」による昆虫相調査. 人と自然 31: 93-97.

池田大・八木剛, 2021. 有馬富士公園における一般参加型虫とりプログラム「あさムシ!」による昆虫相調査. 人と自然 31: appendix.

野川裕司・辻本始・池田大, 2020. ゴキブリイメージ向上化計画. 第31回全国昆虫施設連絡協議会, (オンライン口頭発表)

資料収集保管活動

館員の資料収集

「飛鳥地域における昆虫相調査」

実施日：4月27日、5月24日、6月20日、7月23日、8月19日、9月26日、10月18日、11月14日(計8回)

担当者：木村, 池田

寄贈資料受領

昆虫標本 1点 「奈良県初記録のベニトンボ」
(堂本泰晴氏：令和3年1月3日)

書籍 1点 「おいらは蟲」

(浅名正昌氏：令和2年6月2日)

書籍 1点 「日本産ハバチ・キバチ類図鑑」

(日比肇子氏：令和2年10月23日)

書籍 3点 「虫らしく、人らしく (日比伸子寄稿集)」

(日比肇子氏：令和2年11月9日)

寄贈物品受領

物品 3点 「遠心分離式ミストファン」、レインボー
 リール (延長コード)
 (岡田康孝氏：令和2年8月18日)

生体育成管理活動

チョウ類育成管理

令和2年度月間放蝶数

種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
アゲハチョウ科														
ジャコウアゲハ	40	34	50	59	66	36	61	61	45	15	10	11	488	40.67
ナミアゲハ	0	17	5	35	52	16	51	21	2	3	2	1	205	17.08
キアゲハ	0	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	11	0.92
シロオビアゲハ	94	220	202	202	255	229	270	119	181	139	202	166	2279	189.92
モンキアゲハ	0	0	0	22	11	0	0	0	0	0	0	0	33	2.75
クロアゲハ	33	74	88	42	50	44	41	10	8	0	1	0	391	32.58
ナガサキアゲハ	94	8	38	11	17	0	3	31	7	94	34	7	344	28.67
カラスアゲハ	0	0	0	0	1	73	2	22	0	0	0	0	98	8.17
ミヤマカラスアゲハ	0	0	32	0	0	0	0	4	0	0	0	0	36	3.00
ギフチョウ	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	34	2.83
シロチョウ科														
キチョウ	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0.25
ツマベニチョウ	30	40	46	9	14	54	9	73	18	45	3	27	368	30.67
マダラチョウ科														
アサギマダラ	0	0	0	0	0	0	0	6	40	8	0	0	54	4.50
ヒメアサギマダラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0.25
リュウキュウアサギマダラ	69	74	104	117	82	64	62	116	69	80	96	104	1037	86.42
スジグロカバマダラ	0	92	12	26	3	17	5	28	18	28	15	103	347	28.92
オオゴマダラ	357	163	97	120	22	55	60	212	100	254	134	249	1823	151.92
ツمامラサキマダラ	81	82	208	-8	3	5	-3	6	85	17	150	154	780	65.00
タテハチョウ科														
ツマグロヒョウモン	0	0	12	7	2	0	0	0	0	0	0	0	21	1.75
カバタテハ	162	323	267	46	122	20	194	193	252	51	10	112	1752	146.00
ルリタテハ	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	13	1.08
オオムラサキ	0	0	251	550	0	0	0	0	0	0	0	0	801	66.75
スズメガ科														
オオスカシバ	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	3	8	0.67
計	974	1127	1412	1245	704	613	769	908	825	737	657	954	10921	910.42

※この他にツمامラサキマダラは放蝶温室内にも、多数発生している。

※ツمامラサキマダラのマイナスは放蝶温室に放った数より繁殖のためにサブ温室に回収した数が多いことを示す。

食草等育成管理

食草栽培生育状況	
◎食草栽培温室<約 180 m ² >	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	○
リュウキュウガシワ	△
ツルモウリンカ	×
ギョボク	○
ヒマ	○
セイタカスズムシソウ	○
トウワタ	△
サツマイモ	△
リュウキュウウマノスズクサ	△
◎N温室<約 70 m ² >	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×
リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○
リュウキュウウマノスズクサ	×
ギョボク	○
ガジュマル	○
◎ガラス温室<約 100 m ² >	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類 (ブンタン・レモン)	×
ギョボク	○
◎パイプハウス	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
ホウライカガミ	×
リュウキュウガシワ	×
ツルモウリンカ	○

◎周辺の畑・その他	○：生育良好 △：生育普通 ×：生育不良
植 物 名	生 育 状 況
柑橘類（温州ミカンほか5種）	○
キハダ	○
カラスザンショウ	○
サンショウ	△
エノキ	○
イヌビワ	○
カンアオイ	○
ギョボク	○
カラタチ	○
ウマノスズクサ	△

蝶の幼虫が食べる食草の栽培は、主にオオゴマダラの食草ホウライカガミやリュウキウアサギマダラの食草ツルモウリンカ、スジグロカバマダラの食草リュウキュウガシワを食草栽培温室やパイプハウス、N温室の3カ所で栽培を行なった。

また、アゲハチョウ科の食草の柑橘類やカラスザンショウ・キハダは主に周辺の畑で栽培し、鉢植えとしてヘンルーダも栽培も行なった。

他には、カバタテハの食草ヒマやツマベニチョウの食草ギョボクも食草栽培温室やN温室のほか、暖かい季節には野外でも栽培を行なった。

食草の生育状況は、ツルモウリンカやギョボク、ヒマ、柑橘類は比較的順調であったものの、リュウキュウガシウワ、リュウキュウウマノスズクサなどはキョウチクトウアブラムシやコナカイガラムシなどの害虫により十分な量を確保するのが困難な時があった。特に冬は保温のために温室を閉め切りがちになり蒸れが生じるためか、コナカイガラムシなど害虫の発生が多く不調に陥りがちであった。

N温室では、ギョボクやガジュマルが順調な一方、リュウキュウウマノスズクサなどはコナカイガラムシの虫害などにより生育が良いとはいえない状況であった。ツルモウリンカは比較的順調である。

害虫に対しては、適宜手による除去や水流、刈り込みによる駆除を実施するとともに、それで手に負えないときは分解性の早いピレトリン（除虫菊の成分）を使った農薬を使用した。少なくともキョウチクトウアブラムシには効果的であった。

生体展示室関連育成管理

令和2年度 生態展示 一覧												
	R2 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	3月
水槽①	臨時休館		昆虫館はペビーラッシュ		水の中に棲む虫たち (カメムシの仲間)							
			・タガメ (幼)	・タガメ ・タイコウチ ・ミズカマキリ								
水槽② (カメラ組込)					水の中に棲む虫たち (コウチュウの仲間)							
			・ゲンゴロウ (幼)	・ゲンゴロウ ・クロゲンゴロウ ・シマゲンゴロウ ・ハイイロゲンゴロウ ・ガムシ								
陸槽④ (カメラ組込)					樹液に集まる昆虫							
			・ヘラクレスオオカブト ・アクティオンゾウカブト ・カブトムシ ・ニジイロクワガタ ・バブアキンイロクワガタ ・ダイオウヒラタクワガタ + ・ノキリクワガタ ・ミヤクワガタ ・コクワガタ									
陸槽⑤			昆虫館はペビーラッシュ		キラキラ昆虫 集めました	静寂の狩人〜華麗なるハンター〜			擬態の天才たち			
			・ハナカマキリ ・メダ マカレハカマキリ	・タマシ・ハンミョウ ・アキアソオアオカミキリ	・ハナカマキリ ・メダ マカレハカマキリ			・ハナカマキリ ・メダ マカレハカマキリ				
陸槽⑥			・タイワンクワガタ ・ムニンエンマコオロギ ・ツダ ナナフシ		・ナナホシキンカメムシ ・オオキンカメムシ	・タランチュラ			・タイワンクワガタ			
					・オオセンチコガネ	水玉もようがすてきでしょ おしゃれな虫たち						
陸槽⑦			・アクティオンゾウカブト ・カブトムシ ・ニジイロクワガタ		・ラッキーナガカブト ・コガネムシ類	・ラッキーナガカブト ・ヨウホシコガネ ・オオキンカメムシ			・トガリナナフシ ・ツダ ナナフシ			
					地面を歩く虫			秋の鳴く虫				
暗室			・ヤコンオサムシ ・マイマイカブリ ・ミテラゴミムシ ・クビホソゴミムシ ・オオヒラタシメムシ		・エンマコオロギ ・ホシササキリ ・タイワンクワガタ ・マツムシ ・アオマツムシ			・オオシママドホタル				
					絶滅のおそれのある昆虫の生息域外保全事業			ナナフシのへや				
新館展示室① (中)					・ヒメタイコウチ			・トガリナナフシ				
					ステキなゴキブリ天国							
新館展示室② (南)					・メンガタゴキブリ ・アルゼンチンモリゴキブリ ・トルキスタンゴキブリ ・マダガスカルゴキブリ ・ジャイアントウッドローチ ・ヒメマルゴキブリ							
					八重山のバッタたち							
新館展示室③ (北)			・イリオモテバッタ ・黒島産モリバッタ		・クガニフキバッタ			・イリオモテモリバッタ ・黒島産モリバッタ				
					トビックス展示							
情報コーナー			・オオムラサキ		・カブトムシ			・アルゼンチンゴキブリ ・オオコマダラリ			・アルゼンチンモリゴキブリ	
					エントランス展示							
ロビー					・スズムシ							

令和2年度 生態展示等での昆虫等の飼育状況

グループ	種名(和名)	備考	R1.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他													
コウチュウ目(カブト・クワガタ類)			以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数(多：50頭以上)																										
カブトムシ類	カブトムシ		11	9	12	13	21	21	16	30	19	33	20	33	14	19	19	12	11	8	13	15	9	8	8	9	9	5	
	コカブト		2	0	2	1	2	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
クワガタムシ類	オオクワガタ		4	3	2	3	2	3	2	4	2	4	2	5	3	5	2	5	2	6	3	6	3	6	4	6			
	ヒラタクワガタ		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
	ヒラタクワガタ	ザキシマヒラタクワガタ	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ミヤマクワガタ		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ノコギリクワガタ		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コクワガタ		0	0	0	0	0	0	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	5	1	6	0	6	0	6	0	6	0	5	
水生昆虫			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数(多：50頭以上)																										
カメムシ目	タガメ		12	0	9	0	10	19	9	30	23	4	25	6	26	0	28	0	28	0	28	0	28	0	27	0	25	0	
	コオイムシ		3	1	3	0	3	0	0	6	5	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	タイコウチ		6	0	5	0	4	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ミズカマキリ		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
コウチュウ目	ゲンゴロウ		11	0	10	13	9	21	8	20	25	0	27	0	25	0	23	0	23	0	20	0	20	0	19	0	19	0	
	クロゲンゴロウ		3	0	3	8	3	10	5	10	11	0	13	0	13	0	13	0	13	0	9	0	9	0	9	0	9	0	
ガムシ		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
陸上昆虫			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数(多：50頭以上)																										
ゴキブリ目	オオゴキブリ		6	多	5	多	5	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ヤエヤマオオゴキブリ	八重山諸島	8	多	10	30	30	30	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多
	ヒメマルゴキブリ	八重山諸島	30	30	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	10	15	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
サツマゴキブリ	八重山諸島	多	0	30	2	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ナナフシ目	ヤエヤマトガリナナフシ	八重山諸島	40	多	多	多	多	多	多	多	多	多	40	多	20	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ツダナナフシ	八重山諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	20	多	35	多	35	多	30	40	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
バッタ目	コブナナフシ		4	16	2	23	1	28	1	31	0	40	5	35	5	30	7	27	12	18	10	20	10	10	10	10	15	13	
	タイワンクヅウムシ	八重山諸島	14	多	22	0	30	多	30	多	25	4	33	40	30	5	17	25	30	40	多	多	多	多	多	多	多	多	
	ダイトウクダマキモドキ		20	多	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ヘリグロツユムシ		0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ムニンエンマコオロギ	小笠原諸島	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	スズムシ		12	多	30	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	マツムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	アオマツムシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ササキリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クビキリギス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
カメムシ目	オオキンカメムシ		17	30	11	10	4	多	多	多	1	多	0	25	多	15	15	10	10	10	0	0	0	30	0	30	0		
	ナナホシキンカメムシ	八重山諸島	2	0	2	0	2	15	3	10	4	0	3	0	3	20	3	多	2	10	2	7	1	0	1	0	1	0	
コウチュウ目	オオシママドボタル	八重山諸島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オオゾウムシ		2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	
	オキナワクワゾウムシ		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クロカタゾウムシ	八重山諸島	41	0	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
その他	ヤエヤマサツリ	八重山諸島	4	0	2	0	2	0	2	1	2	9	2	10	2	10	2	9	2	6	2	7	2	7	2	8	2	7	
	キノボリトカゲ	先島亜種	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	
外国産			以下、左：♂(オス) 右：♀(メス) の個体数(多：50頭以上)																										
コウチュウ目	ヘラクレスオオカブト	ヘラクレス亜種	1	0	2	1	1	1	1	0	0	2	2	2	2	3	0	2	0	2	0	2	0	2	1	1	1		
	アクティオンゾウカブト		1	0	0	2	2	4	3	5	5	8	5	7	6	7	5	6	4	5	4	4	3	5	2	3	1	1	
	マルソゾウカブト		2	0	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	エレファスゾウカブト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0		
	ヒラタクワガタ	スマトラヒラタクワガタ	2	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	1	2	0	1	0	1	1	1	0	1	0	
	ヒラタクワガタ	パラワンヒラタクワガタ	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ギラファノコギリクワガタ	亜種不明	4	4	4	5	4	4	3	4	1	2	1	2	0	1	2	5	2	2	2	3	3	5	3	5	3	5	
	コンフキウスノコギリクワガタ		2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	バブアキンイロクワガタ		4	0	0	0	4	12	8	20	7	20	0	0	3	14	4	13	7	8	10	15	9	18	9	14	9	12	
	ニジイロクワガタ		9	9	10	9	10	11	4	12	10	5	10	5	11	4	13	2	7	3	6	3	5	2	4	2	4	2	
インターメディアウスツヤクワガタ		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ラッキーテナガカナブン		0	0	0	0	0	0	5	8	7	15	6	12	5	10	4	10	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0		
外国産			以下、左：成虫 右：幼虫の個体数(多：50頭以上)																										
ゴキブリ目	トルキスタンゴキブリ	レッドローチ	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
	アルゼンチンモリゴキブリ	デュビア	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	
カマキリ目	メダマカレハカマキリ		18	2	18	0	18	0	13	0	11	40	8	多	5	多	2	多	5	35	19	27	21	39	28	22	31	13	
	ハナカマキリ		7	5	12	1	8	10	5	9	9	9	7	15	3	10	8	17	11	10	10	12	10	13	15	多	多		
	コモンプラワーカマキリ		14	5	10	3	5	2	4	1	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
シリアゲカマキリ		13	1	13	0	10	0	8	0	6	0	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
カメムシ目	シロモンオオサングメ		多	多	22	多	20	多	20	多	22	多	40	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多	多		
その他	タランチュラ(オオツチグモ科)	判アンコンタランチュラ	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
	タランチュラの一種	亜種不明	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
グループ	種名(和名)	備考	R1.3末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他													

生息域外保全活動

【ヒメタイコウチ】

令和元年7月1日から奈良県くらし創造部景観・自然環境課より奈良県版レッドデータブックで絶滅寸前種に指定されているヒメタイコウチの生息域外保全事業を受託、令和2年度も依頼に基づき実施した。

1. 事業依頼元

奈良県くらし創造部 景観・環境局 景観・自然環境課

2. 事業期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

3. 事業対象種

種名：ヒメタイコウチ

学名：*Nepa hoffmanni*

分類：カメムシ目タイコウチ科

奈良県版RLランク：絶滅寸前種

4. 事業目的

ヒメタイコウチは、奈良県内では五條市、大淀町の数カ所でのみ生息が確認されており、個体数

が少なく、生息地が点在している状況であるため、奈良県希少野生動植物保護に関する条例に基づきヒメタイコウチ保護管理事業の一環として、緊急的に種の保存を図ることを目的に、榎原市昆虫館と連携し生息域外保全事業を実施する。

本業務は、飼育下個体群の危険を分散し、継続して飼育下個体群を維持することにより種の保存を図るとともに、将来において野生復帰が必要な場合に備えて、飼育繁殖技術の確立、飼育下個体群の生態等科学的知見の集積を目的とする。

5. 事業経過

令和元年10月23日に五條市内のビオトープ調査より持ち帰り、生存している18個体(7♂11♀)を用い、新館飼育室にて繁殖試験を実施した。

18個体のうち、越冬飼育13個体を2ケース、室温飼育5個体を1ケースに入れ、普及啓発を目的とした飼育展示も併せて実施した。

屋外越冬飼育と屋内飼育との繁殖行動等の比較を行った。

生体展示室関連育成管理

昆虫施設等との生体交換		
発送		
年月日	施設名等	内容
令和2年4月13日	伊丹市昆虫館	カバタテハ幼虫 120、卵 50
4月15日	群馬県立ぐんま昆虫の森	カバタテハ卵 220
5月17日	伊丹市昆虫館	イリオモテモリバッタ幼虫 12、タガメ成虫 2
8月11日	石垣市平和協働推進課	オオゴマダラ成虫 16 (予備も含む)
8月22日	足立区生物園	メダマカレハカマキリ幼虫 25
8月22日	多摩動物公園	メダマカレハカマキリ幼虫 10
9月2日	丸瀬布昆虫生態館	メダマカレハカマキリ幼虫 13
11月12日	井頭公園花ちょう遊館	カバタテハ卵 350、若齢幼虫 50
令和3年3月29日	広島市森林公園こんちゅう館	ハナカマキリ幼虫 3、ツダナナフシ幼虫 14
受領		
令和2年4月21日	伊丹市昆虫館	スジグロカバマダラ卵 90、幼虫 30
5月18日	伊丹市昆虫館	タガメ成虫 4
7月8日	磐田市竜洋昆虫自然観察公園	ゴキブリ 16種幼虫～成虫 300
7月14日	アース製薬株式会社	ゴキブリ 10種幼虫～成虫 100

8月25日	足立区生物園	ツマベニチョウ卵 210
3月30日	広島市森林公園こんちゅう館	アフリカエダカマキリ幼虫 13 ラッケリーオオテナガカナブン幼虫 6 シロヘリオオツノカナブン蛹 5 キンイロヒラズカナブン幼虫 8 クビワオオツノカナブン幼虫 3、卵 9

施設の概要・管理運営

1 施設概要

- 施設名 橿原市昆虫館
- 所在地 奈良県橿原市南山町 624 番地（香久山公園内）
- 構造・規模 管理棟・展示棟 — 鉄筋コンクリート造地下一階地上二階
温室棟 — 鉄骨造平屋建一部地下
新館棟 — 鉄筋コンクリート地上三階建
渡り廊下 — 鉄骨鉄筋コンクリート造

■敷地面積 52,156㎡

■建築面積 2,721.61㎡

《内 訳》

本館	渡り廊下	新館棟	多目的広場	蜜源温室	食草温室	合計
1,971.3	40.42	237.96	150.18	141.75	180.00	2,721.61

(単位：㎡)

■延床面積 3,466.47㎡

《内 訳》

	管理棟	展示棟	温室棟	新館棟	渡り廊下	合計
地下1階	184.43		213.92			398.35
1階	384.61	833.59	694.09	237.96		2,150.25
2階	285.96	287.24		61.35	45.36	679.91
3階				237.96		237.96
合計	855.00	1,120.83	908.01	537.27	45.36	3,466.47

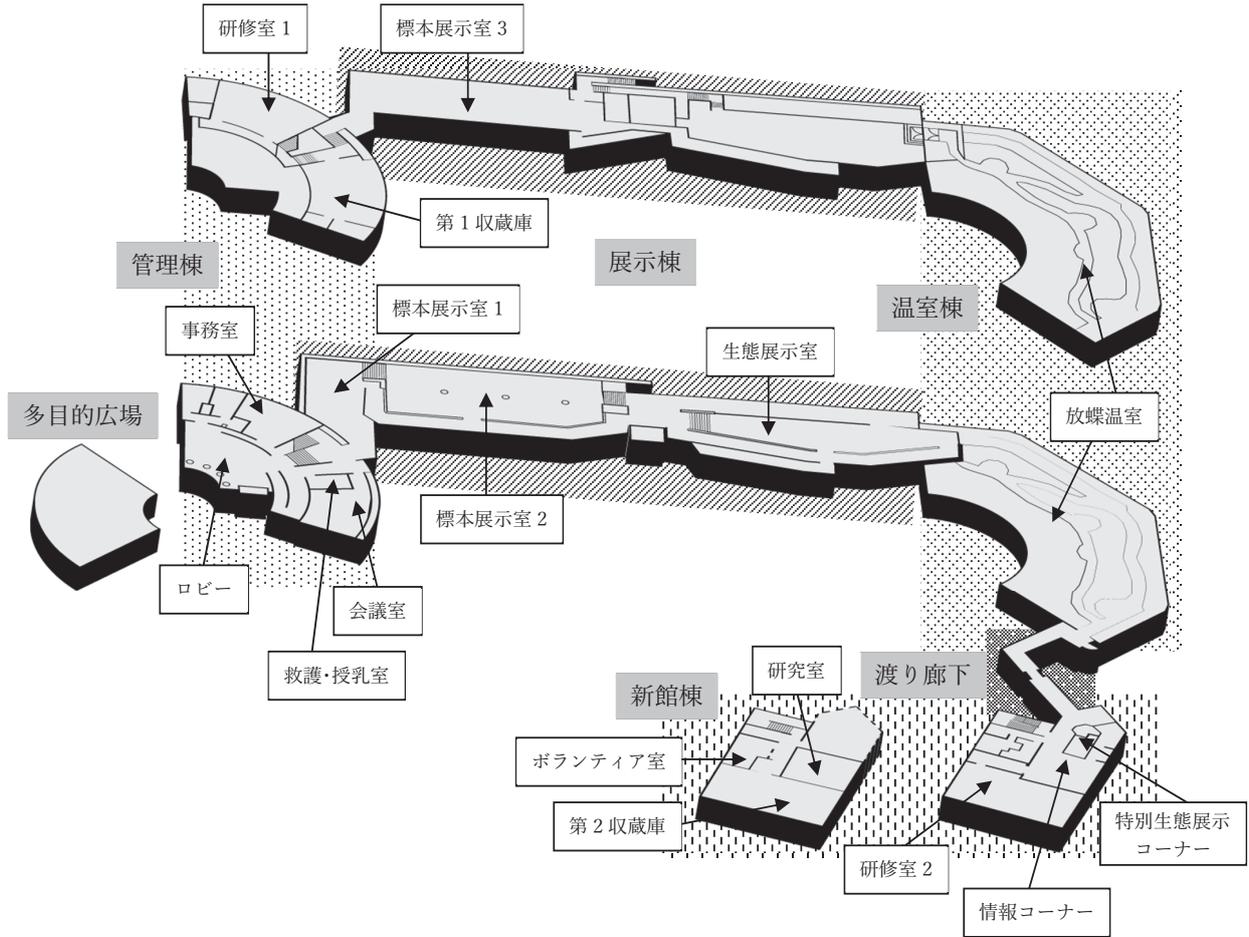
(単位：㎡)

【各室面積表】

	室名	地下	1階	2階	3階	合計
管理棟	ロビー		127.63			127.63
	事務室		64.38			64.38
	会議室		66.44			66.44
	救護・授乳室		13.13			13.13
	研修室1			83.88		83.88
	第一収蔵庫			81.72		81.72
	機械室	120.45		65.29		185.74
	その他	63.98	113.03	55.07		232.08
	合計	184.43	384.61	285.96		855.00
展示棟	標本展示室・1		120.16			120.16
	標本展示室・2		275.16			275.16
	標本展示室・3			221.04		221.04
	生態展示室		163.81			163.81
	メンテ室		51.78			51.78
	その他		222.68	66.20		288.88
	合計		833.59	287.24		1,120.83
温室棟	放蝶温室		496.99			469.99
	食草温室		197.10			197.10
	飼育準備室	113.61				113.61
	その他	100.31				100.31
	合計	213.92	694.09			908.01
新館棟	研修室2				79.56	79.56
	準備室				13.88	13.88
	特別生態展示コーナー				26.73	26.73
	情報コーナー				25.94	25.94
	研究室		37.51			37.51
	第二収蔵庫		84.00	61.35		145.35
	前室		7.15			7.15
	ボランティア室		18.51			18.51
	倉庫1		11.04			11.04
	倉庫2		7.61			7.61
	ピロティ		55.60			55.60
	その他		16.54		91.85	108.39
合計		237.96	61.35	237.96	537.27	
付帯施設	食草温室		180.00			180.00
	蜜源温室		141.75			141.75
	多目的広場		145.23			145.23
	合計		466.98			466.98

(単位：㎡)

2 見取り図



石垣島圃場

・圃場の概要

場所	沖縄県石垣市字宮良 1090 番地		
土地面積	2,337㎡		
施設関係	管理棟 (鉄筋コンクリート造平屋建)	80.09	㎡
	食草栽培用カンレイシャハウス (間口 12 m × 奥行 60 m)	720	㎡
	蝶の飼育用ゲージ (間口 4 m × 奥行 4.5 m)	18	㎡

・食草栽培用カンレイシャハウス内に植え付けている食草と蝶名

食 草	蝶
ホウライカガミ	オオゴマダラ
リュウキュウガシワ	スジグロカバマダラ
ツルモウリンカ	リュウキュウアサギマダラ
ギョボク	ツマベニチョウ・タイワンシロチョウ
ウマノスズクサ類	ジャコウアゲハ・ベニモンアゲハ
セイトカスズムシソウ	コノハチョウ・タテハモドキ

カンレイシャ外に植え付けている食草と蝶を集めるために植えている吸蜜植物など

食 草	ガジュマル・ギョボク・柑橘類・ハネセンナ・ハブソウ オオイワガネ・ハウライカガミ・ツルモウリンカ・エノキ ヒマ・リュウキュウガシワ・トウワタ・サツマイモ 等
吸蜜植物	ハイビスカス・ランタナ・ペントス・ブーゲンビレア ツンベルギア・エレクトア・サンタンカ・タイワンレンギョウ 等

組 織

機構（令和2年4月1日現在）

檜原市魅力創造部 文化・スポーツ局 昆虫館

職員名簿

館 長 高島 宏和
課長補佐 中谷 康弘（学芸員）
課長補佐 松村 忠志（学芸員）

副統括（専門官） 木村 史明（学芸員）

統括調整員 弓場 忍
係 長 辻本 始（学芸員）
副主任 西口 浩
副主任 清水 美昭
主 査 野川 裕司
技術員 池田 大（学芸員）

檜原市昆虫館協議会

令和2年度檜原市昆虫館協議会委員名簿		
氏 名	役 職	備 考
宮 武 頼 夫	元大阪市立自然史博物館館長	学識経験者
服 部 保	兵庫県立大学名誉教授	学識経験者
吉 村 昭 信	奈良県病虫害防除所所長	関係行政機関
国 本 佳 範	日本応用動物昆虫学会評議員	学識経験者
伊 藤 ふくお	昆虫生態写真家・ならむしの会会長	学識経験者
森 田 千 景	檜原市地域家庭教育推進協議会会長	家庭教育の向上に資する活動を行う者
米 田 泰 男	檜原市南山町自治会長	地域代表者
中 島 浩 一	檜原市小学校校長会代表 (檜原市立香久山小学校長)	学校教育及び社会教育の関係者

(敬称略)

入館者数・入館料収入

令和2年度橿原市昆虫館利用状況

入館者数

49,608 人

内訳	個人	団体	障害者	介護者	天ノ香具山南 協働会	スルッと KANSAI	ユネスコ 割引	昆虫館友の会	飛鳥・万葉 お祭り/お散歩 ターボ	合計	
有料	35,685 人	3,713 人	733 人	584 人	0 人	1 人	4 人	0 人	21 人	40,740 人	
内訳	大人	22,830 人	16 人	357 人	550 人	0 人	0 人	3 人	0 人	23,773 人	
	学生	409 人	1 人	20 人	2 人	0 人	1 人	0 人	0 人	433 人	
	小人	12,446 人	3,696 人	356 人	32 人	0 人	0 人	1 人	0 人	16,534 人	
無料										8,867 人	
内訳	引率者等										688 人
	無料者										242 人
	団体3歳児										7,610 人
	土曜無料者										327 人

開館日数		257 日
一日平均入館者数		193 人
一日最高入館者数	令和2年6月7日	724 人
一日最低入館者数	令和2年12月8日	10 人

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため令和2年3月2日(月)～6月1日(月)まで臨時休館。

令和2年度 月別 橿原市昆虫館利用状況集計表

月	入 館	延 入 館	売上額 (円)	延売上額 (円)
	人員 (人)	人員 (人)		
4				
5				
6	4,727	4,727	1,427,540	1,427,540
7	6,188	10,915	1,862,600	3,290,140
8	8,449	19,364	2,553,680	5,843,820
9	6,219	25,583	1,759,270	7,603,090
10	6,713	32,296	1,498,580	9,101,670
11	4,834	37,130	1,185,930	10,287,600
12	1,679	38,809	485,170	10,772,770
1	2,569	41,378	768,030	11,540,800
2	3,540	44,918	996,890	12,537,690
3	4,690	49,608	1,338,500	13,876,190
合計	49,608	49,608	13,876,190	13,876,190

条例等

○檜原市昆虫館条例

平成元年6月21日条例第21号

改正 平成9年3月26日条例第3号

平成9年12月24日条例第25号

平成13年3月27日条例第9号

平成15年9月30日条例第17号

平成17年6月30日条例第20号

平成21年12月25日条例第32号

平成24年3月28日条例第6号

平成25年12月26日条例第26号

令和元年6月28日条例第13号

(設置)

第1条 檜原市は、昆虫をはじめとする動植物に関する自然史資料の収集、保管（育成を含む。）、展示を行うことにより市民の教養文化の向上に寄与するとともに、合わせてこれらの資料に関する調査研究を行うため、昆虫館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 昆虫館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
檜原市昆虫館	檜原市南山町624番地

(事業)

第3条 昆虫館において行う事業は、次のとおりとする。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図書、図表、写真、フィルム等（以下「昆虫館資料」という。）の収集、保管、展示及び閲覧
- (2) 飼育、繁殖及び栽培に関する技術的研究及び生態展示
- (3) 展覧会、講習会、実習会、研究集会等の開催及び指導
- (4) 昆虫館資料及び自然史に関する調査研究並びにその結果の公開
- (5) 昆虫館資料の貸出
- (6) 他の昆虫館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力
- (7) その他昆虫館設置の目的を達するために必要な事業

(入館の制限等)

第4条 檜原市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

あるとき。

- (3) 昆虫館資料、施設又は設備を損傷させるおそれがあるとき。
- (4) 温室内の植物を採取し、又は損傷したとき。
- (5) 昆虫館内の動物を捕獲し、又は殺傷したとき。
- (6) 管理上必要な指示に従わないとき。
- (7) その他支障があると認めるとき。

(観覧料)

第5条 昆虫館の展示場に入館しようとする者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる観覧料を納めなければならない。

2 市長は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者
- (2) その他市長が特別の理由があると認める者

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第6条 昆虫館に檜原市昆虫館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から教育委員会がこれを任命する。

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 第1項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(委任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、檜原市昆虫館の供用開始の日から適用する。

附 則（平成9年条例第3号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成9年条例第25号）

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の檜原市使用料条例、檜原市福祉センター条例、檜原市昆虫館設置及び管理に関する条例、檜原市斎場設置及び管理に関する条例、檜原市公園条例、檜原市立体育館設置及び管理に関する条例、檜原

市万葉の丘スポーツ広場条例、檀原市まちなみ交流センター設置及び管理に関する条例又はかしはら万葉ホール条例の規定により使用の承認又は許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 13 年条例第 9 号）

- 1 この条例は、平成 13 年 7 月 1 日から施行する。
- 2 この条例の施行の際、現にこの条例による改正前の檀原市公園条例又は檀原市昆虫館設置及び管理に関する条例の規定により使用の許可を受けている者の当該使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 15 年条例第 17 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 17 年条例第 20 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 21 年条例第 32 号）

この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年檀原市条例第 6 号）

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年条例第 26 号抄）

（施行期日）

第 1 条 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

第 2 条 次条及び附則第 4 条に定めるものを除き、この条例による改正後の各条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に行う資産の譲渡等（消費税法（昭和 63 年法律第 108 号）第 2 条第 1 項第 8 号に規定する資産の譲渡等をいう。以下同じ。）について適用し、施行日前に行った資産の譲渡等については、なお従前の例による。

附 則（令和元年 6 月 28 日条例第 13 号）

（施行期日）

第 1 条 この条例は、令和元年 10 月 1 日から施行する。ただし、附則第 3 条の規定は公布の日から施行する。

（経過措置）

第 2 条 この条例の施行の際現にこの条例の規定による改正前の各条例（以下「旧条例」という。）の規定により使用の承認を受けている者の当該使用に係る使用料（入館料、管理料、土石採取料等を含む。）又は旧条例の規定により申請、申込み等をしている者の当該行為に係る手数料については、なお従前の例による。

第 3 条 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）

以後の使用に係る利用料金の額の定めは、施行日前においても、この条例による改正後の各条例の規定による使用料の額を超えない範囲内において、行うことができる。

別表（第 5 条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体
大人	520円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とする。ただし、これらの額に10円未満の端数がある場合
学生	410円	については、その端数金額を切り捨てた額とする。
小人	100円	

備考

- 1 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずるものの生徒及び学生をいう。
- 2 小人とは、幼稚園、小学校、中学校及びこれらに準ずるものの園児、児童及び生徒等をいう。
- 3 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。